

第12回国際合気道大会開催



植芝会長を中心に新役員が勢揃い

植芝会長の冒頭で、第12回国際合気道連盟の総会が41カ国の代表、26カ国のオブザーバーの参加のもと、開催されます。開会式では、植芝会長の挨拶があり、古藤司(公財)合気会専務理事の乾杯の挨拶があり、盛況裡に行われた。



開会宣言を行う道主

第12回国際合気道大会 THE 12TH IAF CONGRESS

第12回国際合気道大会は、高崎市において開催されます。高崎市は、国内・海外から多くの参加者が集まり、高崎市の市長として心から歓迎致します。この演武会の開催にあたっては、公益財団法人合気会、国際合気道連盟との協力はもとより、地元群馬県合気道連盟の荒井俊幸八段にご尽力をいただきました。関係者の皆様にあためて厚く御礼申し上げます。参加される皆様、日頃の稽古



熱気溢れる講習会

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

「縁起のいいまち高崎」で四年に一度の国際合気道大会が開催され、海外70ヶ国の代表が参加した。大会恒例の講習会は新設の高崎アリーナにてほぼ一週間に亘って行われた。最終日には道主による講習会があった。800名の会場がほぼ一杯であった。合気道に浸りきって満足感溢れる参加者の笑顔が印象に残った。大会最後の演武大会では、各国代表の演武を観ながら合気道が世界中に広がった実感をもった。観覧席の一般の方々にも合気道の美しさ、素晴らしさを堪能頂けたものと思う。引き続き行われた記念祝賀会では世界各地から一堂に会して、皆和気あいあいと喜びに満ちた表情で語り合っていた。高崎市役所の方からお聞きしたのが大会の期間中、街の賑わいが増して経済効果も大きかったとのお話があった。大会は高崎のPRに少なからず貢献したのと思われ、実際、聞くところによると、観光客が増えたと大加のあつと観光するという参加者が何人もいた。周辺の観光スポットも国際色豊かになったのではなかろうか。

第12回国際合気道大会は、高崎市において開催されます。高崎市は、国内・海外から多くの参加者が集まり、高崎市の市長として心から歓迎致します。この演武会の開催にあたっては、公益財団法人合気会、国際合気道連盟との協力はもとより、地元群馬県合気道連盟の荒井俊幸八段にご尽力をいただきました。関係者の皆様にあためて厚く御礼申し上げます。参加される皆様、日頃の稽古

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第12回国際合気道大会(主催…(公財)合気会、国際合気道連盟)は、群馬県高崎市で9月27日から10月2日まで開催された。

大会は、総会(高崎市役所)と講習会(高崎アリーナ)に分かれ、27日から1日までの午前9時から12時

まで総会が、26日から30日までの午後2時から5時まででは理事会が行われた。講習は、27日から10月2日に行われ、2日最終日の道主昇司(公財)合気会専務理事の乾杯の挨拶があり、盛況裡に行われた。

第12回国際合気道大会は、高崎市において開催されます。高崎市は、国内・海外から多くの参加者が集まり、高崎市の市長として心から歓迎致します。この演武会の開催にあたっては、公益財団法人合気会、国際合気道連盟との協力はもとより、地元群馬県合気道連盟の荒井俊幸八段にご尽力をいただきました。関係者の皆様にあためて厚く御礼申し上げます。参加される皆様、日頃の稽古

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

70カ国から2000人



毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)
公益財団法人 合気会
(合気道本部道場)
編集人 可児 晋
電話03 (3203) 9236(代表)
FAX03 (3204) 8145
購読料
1ヵ年 2,500円
郵便振替
00150-0-49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌
無明とは
誰の人の
夕月の
いつるも入るも
知る人ぞなし



道主による指導

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

第1部として国際合気道連盟、全日本合気道連盟による演武、第2部では植芝充央本部道場長の演武、第3部は本部道場指導者演武、第4部は都道府県連盟演武として26団体が演武、第5部としてIAF加盟団体演武の30団体が演武、第6部として講習会を指導された師範による自由演武、多田宏本部師範による自由演武、最後に植芝守央道主の特別演武が披露された。演武大会は、林典夫(公財)合気会理事の閉会の辞で盛大に締めくくられた。

入身転換

「縁起のいいまち高崎」で四年に一度の国際合気道大会が開催され、海外70ヶ国の代表が参加した。大会恒例の講習会は新設の高崎アリーナにてほぼ一週間に亘って行われた。最終日には道主による講習会があった。800名の会場がほぼ一杯であった。合気道に浸りきって満足感溢れる参加者の笑顔が印象に残った。大会最後の演武大会では、各国代表の演武を観ながら合気道が世界中に広がった実感をもった。観覧席の一般の方々にも合気道の美しさ、素晴らしさを堪能頂けたものと思う。引き続き行われた記念祝賀会では世界各地から一堂に会して、皆和気あいあいと喜びに満ちた表情で語り合っていた。高崎市役所の方からお聞きしたのが大会の期間中、街の賑わいが増して経済効果も大きかったとのお話があった。大会は高崎のPRに少なからず貢献したのと思われ、実際、聞くところによると、観光客が増えたと大加のあつと観光するという参加者が何人もいた。周辺の観光スポットも国際色豊かになったのではなかろうか。

全東北演武大会に320名

第26回



道主、秋田で演武

第26回全東北合気道演武大会は、9月3、4日に秋田県立武道館にて、植芝守央道主をお招きし開催された。東北各県と北海道より62団体320名が参集し演武を行った。

開会式では主催者を代表し、日高浩東北合気道連盟会長が「大震災から5年が経ち、いまだ復興道半ばにありながら、追い打ちをかけるように台風10号が猛威を振るいました。改めて犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに1日も早い現地再生が実現しますようご祈念申し上げます」と挨拶した。

げます。本日は平成26年の50周年大会を経ての初めての節目の大会であり、植芝道主先生をお迎えして、この秋田で盛大に開催できます事、皆様とともに喜びたいと存じます」と挨拶。続いて主管団体の秋田県合気道連盟より横山清一会長が挨拶を行った。次に道主より「第26回全東北合気道演武大会の開催おめでとうございませう。今年は4年に1度の国際合気道大会が開催されます。このように合気道の輪が広がる中、2年に1度行われる本大会は大変意義のあるものと感じてお

ります。開祖の唱えられた「和合の精神」を大切に、素直な心で基本を大切に、互いを尊重しながら本大会を素晴らしいものにしてください」と挨拶。来賓祝辞として、佐藤一人秋田市観光文化スポーツ部スポーツ振興課副参事が穂積志秋田市長の祝辞を代読。さらに三浦仁秋田県公立武道館協議会会長より祝辞が述べられた。また尾崎响全日本合気道連盟理事長の祝電が披露された。その後、各地域で合気道の普及発展に貢献した方への表彰があった。開会式の最後にはオーブニングセレモニーとして秋田市竿燈会による庄巻の秋田竿燈の妙技が披露された。

演武は大学生、高校生、各県連盟団体や代表者などによって約3時間行われ、植芝道主の総合演武で締めくくられた。

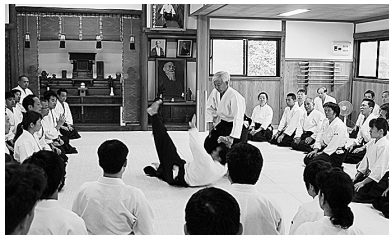
演武大会後に場所を変えて行われた懇親会には200名以上が参加。夜遅くまで大いに盛り上がった。

4日は植芝道主による1時間半の講習会が行われた。植芝道主は基本の動作を素直らしいものにして、300名の参加者は30度を超える環境の中、水分を摂りながら汗を流した。

閉会式では次回開催地の青森県へバトンタッチが行われた。田辺孝美青森県連盟会長より「本大会が盛会に行われ、皆様の次回大会への期待も大きくなっていると思います。秋田県に負けないように、秋田県を参考にしながら次回大会を成功させたいと思います」と意気込みが述べられ、大会の全日程は終了した。

茨城支部道場特別講習会

第12回植芝守央道主特別講習会は、9月17日、18日の両日、公益財団法人合気会茨城支部道場で開催された。



道主の技に熱い視線が集まる

合気道が世界に広く普及していることに言及されながら感謝の意が表された。

林典夫(公財)合気会理事の乾杯の発声で懇談に移り、各参加団体の紹介や参加者全員での合唱など、会場は盛大に盛り上がった。

植芝充央本部道場長より挨拶があり、次に磯山博茨城支部道場相談役から、また、植芝道主は挨拶の中で

合気道学校 後期開講式

平成28年度合気道学校後期開校式は、10月1日(中級)、3日(初級)、4日(上級)にそれぞれ行われ計51名が入学した。



開校式で植芝守央道主校長は「これから半年間担当の師範の指導を受ける訳ですが、よく見てしっかりと継続して頂きたいと思っております」と挨拶を述べた。

その後、担当講師の紹介の後、第1回目の稽古に入った。

各課程の講師は以下の通

山雄二両本部道場指導部指導員

初級課程―関昭二、金澤威両本部道場指導部師範

合気道学校は、合気道の稽古指導を行う東京都公認の唯一の学校であり、各課程を通じて合気道の実技と理論を身につけられるよう基礎から指導される。

それぞれの課程で2月まで38回の稽古が行われ、所定の課程修了者には修了証のほか、昇段級審査の上、初級課程は3級、中級課程は1級、上級課程は初段まで授与される。



武道館を背にする三菱合気道部

全三菱武道大会

全三菱武道大会は9月10日、日本武道館において開催された。第60回を迎えたこの大会は民間企業グループの武道大会としては国内最大規模であり、三菱合気道が主催し三菱グループ企業

奈良 50周年 国際交流会に600名

平成28年9月24日(土)、25日(日)の2日間に渡って、奈良合気会50年記念大会・合気道国際親善交流会が奈良県橿原市中央体育館で開催され、総勢600名(内外国から50名)を超え人々が集まりました。

1966年4月に江戸の街並みが残る保存地域今井町に産声をあげ、以来、丸50年、今では、15直轄道場、高校大学合気道部、中学の正課授業にと発展し、今日の大大会を迎えるにいたりました。

植芝守央合気道道主、多田宏本部道場師範、尾崎响全日本合気道連盟理事長を主賓として八段位8名、七段位20数名の方々、また政界からも総務大臣・高市早苗衆議院議員をはじめと森下豊橿原市長、岡崎益光橿原副市長、その他5名の奈良県議会議員、3名の橿原市議会議員の方々を招いて盛大に開催されました。

大会1日目、「第一部の年少女・学生演武が披露されました。特に学生有段者演武は、日頃十分な稽古をしている様子が伺えて、見ごたえのあるものでした。



奈良で演武する道主

武が執り行われ、最後に窪田育弘奈良合気会代表、多田宏本部道場師範、植芝守央道主先生の演武で締めくくられ、会場は息を呑むほどの連続に圧倒されました。

事長から祝辞を頂きました。演武が始まり、まずは奈良合気会所有者による段位別演武、次に、グアム、アメリカ、ロシア、南アフリカ、イギリス、オーストラリア、セルビア、マレーシア、インドネシアの海外からの国別演武、多田宏招待道場の各道場代表者によ

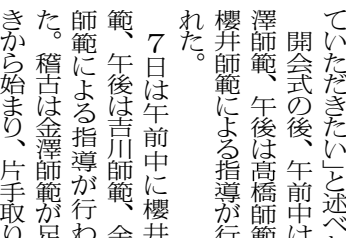
る高段者演武が執り行われ、最後に窪田育弘奈良合気会代表、多田宏本部道場師範、植芝守央道主先生の演武で締めくくられ、会場は息を呑むほどの連続に圧倒されました。

会場を、体育館前の万葉ホールレセプションホールに移動し、「大会第二部」記念祝賀会が執り行われました。今大会に間に合うようにと畳を百畳、購入して下さり、この大会の成功に

千葉県の地域社会指導者研修会開く

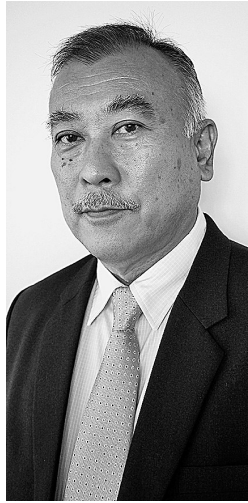
平成28年度千葉県(千葉市)地域社会合気道指導者研修会(主催)公益財団法人日本武道館・全国都道府県武道館協議会・公益財団法人合気会、後援)日本武道協議会、主管)千葉県合気道連盟は8月6日、8月7日の2日間に渡り千葉県総合スポーツセンター武道館で行われた。

本部道場からは金澤威本部道場指導部師範、櫻井寛幸同部師範、梅津翔同部指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を高橋剛慶千葉県合気道連盟会長と吉川滋同連盟副理事長が務めた。42団体から1



熱気に満ちた金澤師範の指導

6日は講習会に先立ち開会式が行われ、主催者側から臼井日出男日本武道館理事長、本宮一好千葉県総合スポーツセンター事務所長、主管団体から高橋会長、講師を代表して金澤師範がそれぞれ挨拶を行った。臼井理事長は挨拶で「日本の武道を通じて精神を高めて欲しい。また、研修会で学んだ事を各々の道場で広めて



新理事長の挨拶

井沢 敬

今回、国際合気道連盟に10団体が加わり、46団体から56団体に増えました。総会にはオブザーバーとして29団体近くが参加しまして、国際合気道連盟が急激な勢いで発展

する予兆を感じています。そのような中で合気会の指導のもと、正しい合気道を世界に広め、合気会のお手伝いをするという事を心から望んでおります。



道主講習会には2000名が参加



植芝本部道場長の四方投げ



講習会会場の高崎アリーナ



汗を流す山谷合気会理事



新加盟国は10カ国

第12回IAF講習会から

新役員を選任

総会期間中に役員改選が行われ、2016年から2020年までの新役員、新加盟国が次のように決まりました。新役員は次の通り、

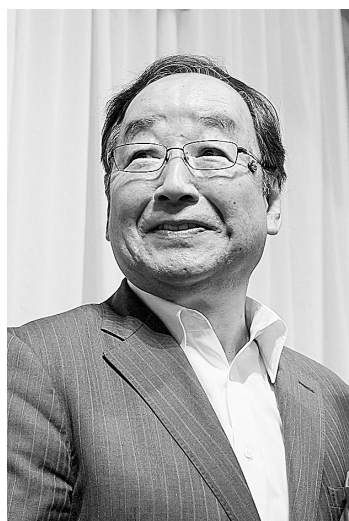
◇ ◇
会長 植芝 守央
理事長 井沢 敬
副理事長 ライフ・スニ
事務総長 ビルコ・フリスマン

財務総長 貞国 鎮
事務総長補佐 ヘンリエ
テ・フラーデ
理事 チャールス・マギ
ニス
理事 ドリン・マルチス
理事 フレデリク・ヘル
ブロック
理事 神谷 正一
専門委員 宮本 鶴蔵
専門委員 横田 愛明
専門委員 大澤 勇人

高等委員 多田 宏
高等委員 山田 嘉光
高等委員 浅井 勝昭
高等委員 菅沼 守人
高等委員 尾崎 响
高等委員 クリスチャン・ティンシェ
高等委員 トニー・スマ
イバート
新加盟国
ハンガリー
クロアチア共和国
モロッコ王国
ギリシャ
リトアニア共和国
エジプト・アラブ共和国
スペイン
ウクライナ
コロンビア共和国

講習会日程 (講師 敬称略)

day time	9月27日 Sep.27th 火/Tue.	9月28日 Sep.28th 水/Wed.	9月29日 Sep.29th 木/Thu.	9月30日 Sep.30th 金/Fri.	10月1日 Oct.1st 土/Sat.	10月2日 Oct.2nd 日/Sun.
9:00~10:00	金澤 威 Takeshi Kanazawa	小林 幸光 Yukimitsu Kobayashi	栗林 孝典 Takanori Kuribayashi	菅原 繁 Shigeru Sugawara	宮本 鶴蔵 Tsuruzo Miyamoto	道主講習会 Seminar by Doshu 9:30~11:00
10:30~11:30	堀井 悦二 Etsuji Horii	ジャネット クリフト Janet Clift	岡本洋子 Yoko Okamoto	ミシェリーヌ ティシエ Micheline Tissier	クリスチャン ティシエ Christian Tissier	演武会 Demonstration 12:30~15:00
15:00~16:00	トニー スマイバート Tony Smibert	荒井 俊幸 Toshiyuki Arai	ウルフ エバンス Ulf Evenas	藤井 幸一 koichi Fujii	菅沼 守人 Morito Suganuma	さよならパーティー Farewell Party 16:00~18:00
16:30~17:30	植芝 充央 Mitsuteru Ueshiba	浅井 勝昭 Katsuaki Asai	山田 嘉光 Yoshimitsu Yamada	横田 愛明 Yoshiaki Yokota	多田 宏 Hiroshi Tada	



富岡高崎市長より挨拶



植芝道主より主催者挨拶



荒井群馬県連会長より乾杯の発声

さよならパーティー

4年後に
日本で再び



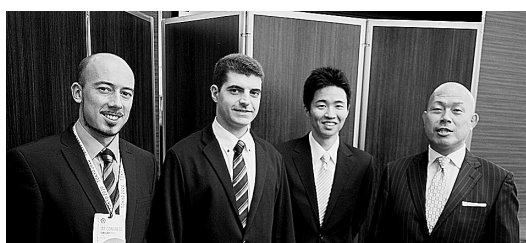
福田衆院議員



山谷参院議員



ピーター理事長に道主より感謝状が贈られた



通訳・司会も大忙し



学生ボランティアの皆さん



国際合気道演武大会にて



中曽根参院議員



松永日本武道館会長



演武後、道主に花束が贈呈された



演武エキシビジョン





小林師範の抑え技

BAFサマースクール

私(小林)は8月19日から28日まで、BAF(金塚稔師範)サマースクール指導の為、英国のチェスター市に派遣された。

会場は例年同様、同市内のチェスター大学。道場を2か所に分け、講習を同時に進行する形式である。メインの1日4時間の講習を、金塚師範、M・ホーランド師範、私が指導を担当した。

参加者はBAF(UK)会員の他、ロシア、オランダ、ドイツ、ギリシャ等から約180名。英国在住の日本

人も参加していた。

なお、期間中昇段昇段審査が行われ、私が昇段審査を担当、受験者全員が合格した。

私は今回で、このサマースクールには12回目の参加となる。その間には、現道主、故藤田師範とも御一緒にさせて戴いた事もある。

指導者達も昔から変わらなく、熱心に指導、稽古を続けている。人間としても素晴らしいメンバーだと思う。指導を受ける会員も調う。同連盟を担っている

日本では猛暑が伝えられる中、ここ英国は昼間でも気温が15度。稽古だけでなく、普段過ごすにも最適な環境である。最終日の講習まで、とても充実した毎日を送る事が出来た。

稽古後、金塚師範を囲み参加者と夕食会が開催された。合気道の同友の一人として、とても有意義な時間を過ごすことが出来た。

以上で全日程を終了。翌日の便にて、猛暑の日本への帰途についた。(本道場指導部師範 小林幸光)

地指導者の苦勞を知るまで、こちらの心がまだまだ開ききつていなかったことに気づかされた。

お供や随行で行く海外出張も得るものはいないが、単独での海外出張もまた実りあるものだと感じ、更なる精進の決意を強く持ち帰るの途についた。

(本道場指導部指導員 日野昭正)

第27回 多田宏師範 特別講習会

「第27回多田宏師範特別講習会」を下記のとおり開催します。奮って下さい。

日 時

平成28年11月27日(日) 午後2時～5時(13時45分まで)

場 所

多田道場 3階道場

会 費

3000円

持 ち 物

① 稽古道具 ② 筆記用具 ③ 足手廻り ④ 徒手技の練習用紙

申込方法

多田道場へ申し込み(11月11日まで)

締 切

11月11日

モンゴル巡回指導

ウランバートルで



教会内にある道場で稽古

私(栗林)は9月1日から9月6日まで、ノルウェー合気会傘下オスロ合気道クラブ(エリック・ヴァーネム四段)主催講習会のため、北欧ノルウェーの首都オスロを訪問した。

今年で3回目のオスロであったが、残暑厳しい東京とは打って変わって、もはや秋の気配のオスロは、稽古にはもってこいの季節となっていた。

講習会は例年通りオスロ郊外にある学校の体育館に畳を敷き詰めて行われた。今回初めて使用する真新し

私(栗林)は9月1日から9月6日まで、ノルウェー合気会傘下オスロ合気道クラブ(エリック・ヴァーネム四段)主催講習会のため、北欧ノルウェーの首都オスロを訪問した。

今年で3回目のオスロであったが、残暑厳しい東京とは打って変わって、もはや秋の気配のオスロは、稽古にはもってこいの季節となっていた。

講習会は例年通りオスロ郊外にある学校の体育館に畳を敷き詰めて行われた。今回初めて使用する真新し

私(金澤)は9月2日から5日まで、ロシアのモスクワで活動している合気道登竜門会の要請により、講習会の指導と昇段審査を行った。合気道登竜門会での指導は私にとって初めてである。

登竜門会はビュドル四段とウラジミール四段が中心になり2年前に設立された。現在12道場で活動しており大人が約50人、子供が約200名稽古している。

今回の登竜門会主催の講習会には、登竜門会のほかモスクワの様々な道場やモスクワから離れたウファ、カザン、チェリシンスク、また海外からは英国からの参加もあり、165名が登録した。

講習会はモスクワ市内の小学校の体育施設とサンボ70の2か所で行われ、大人クラスが6回、子供クラスが2回行われた。大人のクラスでは初めての指導ということもあり、基本技を繰り返し、その中で体捌きを意識して稽古した。

子供クラスには63名が参加、受身や普段稽古している技を聞きながら、入身投げ、一教、小手返しなどを稽古した。

最初子供たちは緊張し質問にもなかなか答えられなかったが、慣れてくると自分から積極的に手を挙げて答え、普段の元気な姿で稽古していた。

今回登竜門会主催の講習会であったが、他の様々な道場からの参加者が多く、登竜門会にとっても良い刺激になったのではないかと感じた。

(本道場指導部師範 金澤威)



指導する櫻井師範

▽宮本鶴蔵指導部師範は、10月14日から17日まで中国の講習会に派遣される。

▽森智弘指導部師範は、10月13日から20日までドイツの講習会に派遣される。

▽菅原繁指導部師範は、10月19日から26日までリトアニアの講習会に派遣される。

▽栗林孝典指導部師範は、10月27日から11月1日までロシアの講習会に派遣される。

▽伊藤真指導部師範は、10月27日から11月1日までロシアの講習会に派遣される。

▽植芝充央道場長は、11月3日から8日まで講習会指導のためスウェーデンを訪問される。

▽桂田英路指導部師範は、10月26日から11月2日までメキシコの講習会に派遣される。

▽小林幸光指導部師範は、10月27日から11月1日までブルガリアの講習会に派遣される。

▽大澤勇人指導部師範は、10月27日から11月1日までカナダの講習会に派遣される。

▽伊藤真指導部師範は、10月27日から11月1日までロシアの講習会に派遣される。

▽植芝充央道場長は、11月3日から8日まで講習会指導のためスウェーデンを訪問される。

至優館主催の第4回国際セミナーが9月9日～11日に開催、本道場指導部から櫻井寛幸師範が派遣され、私(郷西)は邦人三名とともに同行しました。至優館の代表はラド・マリノフ氏。首都ソフィアに一泊し、車で約300キロ東へ離れた会場のスリヴェン市へ移動。

会場はスポーツパレスホテルの併設で徒歩1分の距離。基本2時間の講習会が五回実施され、国内各地、ルーマニア、モルドバ、トルコから110名が参加。講習会は、櫻井師範の日本語をマリノフ氏が同時通訳しながら進行。体裁き、姿勢、腹部の役割、意識など

に留意しながら各種指導が行われました。最終日に審査が行われ、新たに2名が三段、3名が初段になりました。

また、国際セミナーの前後の日程を利用して、近隣市にあるブランチ道場である至優館ヤンボル(代表はコロヨ氏)とスリヴェンの至優館でも指導が行われました。道場生は皆、礼儀正しく、稽古を通じて彼らの日頃の修練を感じました。

後でマリノフ氏に確認すると「週に5日稽古している人も多い」とのことと納得がきました。

ちなみに、最初に覚えたブルガリア語は、「ナスドルーウェ(乾杯)」であり、毎日欠かさず使いました。(戸田市スポーツセンタ―合気道教室 郷西理明)

1時間の稽古が2時間で9回行われ、うち7回を私が、2回を会代表のアンドルー師範が担当した。

参加者の約半数が初心者で、年齢も10代から年配の方までバランス良く混ざっていた。(本道場指導部師範 藤巻宏)

私(藤巻)は、9月1日から5日まで合気道神流館カンタベリー夏季講習会の講師として、ニュージーランドのクライストチャーチを訪れた。

週末を利用しての2日に渡る講習だったが、国内は北島のオークランド、オーストラリアのブリスベンからの参加もあり延べ80名が稽古に汗を流した。

1時間の稽古が2時間で9回行われ、うち7回を私が、2回を会代表のアンドルー師範が担当した。

参加者の約半数が初心者で、年齢も10代から年配の方までバランス良く混ざっていた。(本道場指導部師範 藤巻宏)

私(日野)は、平成28年度本道場東南アジア巡回指導の一環で、9月9日より12日までモンゴルのウランバートルに派遣された。

10日、11日の午前午後、計4回の1時間半の講習を担当。市内中心部にあるロシア教会内の道場に、モンゴル合気道連盟の2道場より約30名が参加。モンゴル人の力強さを感じながら、受身や体捌き、基本技を中心に身体感覚の幅を広げるよう指導した。

現在モンゴルにはモンゴル合気道連盟のみが合気会の道場として存在し、会員は約60名という。2つの道場で週に4回稽古を行って

いる。ほぼ男性会員で女性会員は数名。20代から40代前半の年齢層がほとんどであり、代表者の50歳が最高齢、最年少は19歳の大学生である。合気道が普及し始めてまだ間もないが、会員の年齢層や稽古の取り組み方より発展の光を見た。

初めての単独海外出張であ

あったが、一番新鮮に感じたことは現地の代表者と多岐にわたる合気道談義が出来たことである。開祖の逸話(もちろんモンゴルに渡された事)や海外で活躍される師範の話など、今や過去の映像が気持に見られることもあり、飽くことな

く話が出来た。同時に海外の指導者の知識の量や合気道に対する熱意を感じた。

更には合気道の「受け取り交互に互いを尊重しながら」という部分を、かつては大国を有しており、戦うことで多くを得てきた気質を持つモンゴルにおいて理解してもらいながら稽古を積み重ねることの難しさを感じた。代表者と様々な話を交わす前後では、講習に臨む自分の気持ちに変化があったことも驚いた。現

熱心に稽古に励んだ。今年スウェーデンの合気道50周年行事の為11月に本道場場長が北欧を訪問される予定であり、続いて来年はノルウェー合気道40周年で同じく道場長がオスロにお越し下さる事になっており、昨年道場長に列席頂いたフィンランド合気会45周年と併せて、スカンジナビアで3年続いている大きなイベントとなっている。

これを機に北の国々で益々合気道が盛んになる事を期待している。(本道場指導部師範 栗林孝典)

ブルガリア講習会

至優館主催の第4回国際セミナーが9月9日～11日に開催、本道場指導部から櫻井寛幸師範が派遣され、私(郷西)は邦人三名とともに同行しました。至優館の代表はラド・マリノフ氏。首都ソフィアに一泊し、車で約300キロ東へ離れた会場のスリヴェン市へ移動。

会場はスポーツパレスホテルの併設で徒歩1分の距離。基本2時間の講習会が五回実施され、国内各地、ルーマニア、モルドバ、トルコから110名が参加。講習会は、櫻井師範の日本語をマリノフ氏が同時通訳しながら進行。体裁き、姿勢、腹部の役割、意識など

に留意しながら各種指導が行われました。最終日に審査が行われ、新たに2名が三段、3名が初段になりました。

また、国際セミナーの前後の日程を利用して、近隣市にあるブランチ道場である至優館ヤンボル(代表はコロヨ氏)とスリヴェンの至優館でも指導が行われました。道場生は皆、礼儀正しく、稽古を通じて彼らの日頃の修練を感じました。

後でマリノフ氏に確認すると「週に5日稽古している人も多い」とのことと納得がきました。

ちなみに、最初に覚えたブルガリア語は、「ナスドルーウェ(乾杯)」であり、毎日欠かさず使いました。(戸田市スポーツセンタ―合気道教室 郷西理明)

1時間の稽古が2時間で9回行われ、うち7回を私が、2回を会代表のアンドルー師範が担当した。

参加者の約半数が初心者で、年齢も10代から年配の方までバランス良く混ざっていた。(本道場指導部師範 藤巻宏)

私(藤巻)は、9月1日から5日まで合気道神流館カンタベリー夏季講習会の講師として、ニュージーランドのクライストチャーチを訪れた。

週末を利用しての2日に渡る講習だったが、国内は北島のオークランド、オーストラリアのブリスベンからの参加もあり延べ80名が稽古に汗を流した。

1時間の稽古が2時間で9回行われ、うち7回を私が、2回を会代表のアンドルー師範が担当した。

参加者の約半数が初心者で、年齢も10代から年配の方までバランス良く混ざっていた。(本道場指導部師範 藤巻宏)

各道場の昇段者

28年 8 月15日～28
年 9 月14日（公財）
合気会登録

【四段】

◆三田会研修塾＝徳久雄一◆祥平塾＝O. Lusky◆西尾修練道場＝糸喜弘◆大阪武育会＝細坪敏行◆大手前学院＝佐々木 誠、増田昇司◆合気道れいめい会＝原口英之◆SPAIN＝G. Borrás、J. Enriquez◆CZECH＝V. Caloun◆PHILIPPINES＝R. Borlongan、K. Amin、A. Amin◆GERMANY＝S. Rost、B. Schulz、B. Schimming、N. Held、R. Berger、W. Huber、M. Tunk、M. Stender、F. Meiburg、S. Navarro、F. Gerring、G. Kutterer◆ARGENTINA＝R. Freire、C. Andrade◆CANADA＝M. Daras◆U.K. ＝P. Hughes◆MEXICO＝F. Soto◆FRANCE＝J. Imbert◆SERBIA＝E. Ramovic◆U.S.A. ＝J. Hanon、T. Moloney、P. Smeets、D. Rampersad◆LIECHTENSTEIN＝B. Ahmed◆RUSSIA＝T. Anikin、D. Legeza、K. Igor、V. Panayotov、M. Oskin、V. Spirkin◆SWITZERLAND＝K. Schneeberger、V. Marek、P. Schyrr◆HUNGARY＝Z. Becze◆BULGARIA＝D. Adamov◆BELGIUM＝J. Freddy◆BRAZIL＝N. Pereira、I. Mattiello、W. Frushio◆SINGAPORE＝王会书、林米雪

【参段】

◆無為会＝岡田貴裕◆宮城県武道館合気道教室＝能代剛志、倉島研◆桜台合気道クラブ＝宮川和也、寺内康裕◆合気道小金井同好会＝新川智洋◆小林道場＝杉内忠浩、鈴木顕仁、大内正男、笠井嘉廣、R. Clark◆合気道千葉千種道場＝R. Chadorkafuri◆祥平塾＝松崎智恵美、出町浩一、荒木邦公◆八戸道場＝牛田幸子◆千代田区合気会＝山口晃広◆大阪武育会＝B. Salvatore、G. Iurato、A. Massarelli◆奈良合気会＝江田晴彦、糸澤裕子◆鈴木道場＝西巻武英、河西高明◆和氣會＝三瓶修弘◆石岡道場＝金堀雄介◆合気道清水塾＝中野宏◆広島国際合気道道場＝桧山仁美、小林敏夫◆我孫子合気会＝シュツテレ・ホルガー◆くさなぎ道場＝ギョ・ファビアン◆甲南大学＝戸田敦大◆富山大学＝森田晃正、森田昌代◆PHILIPPINES＝J. Rosell、K. Bermás、O. Mowallad、P. Flores◆GERMANY＝D. Schweda、M. Moritz、I. Wuddel、J. Wenglorz、H. Reinhold、R. Meierhofer、G. Borth、P. Schreiber、G. Errenst、R. Kohnen、A. Soosten、L. Mcgough、A. Kaeser◆PORTUGAL＝L. Cancela、G. Ferro◆ARGENTINA＝D. Fleita、G. Blois、M. Macchi、N. Montero、G. Romero、G. Derbenti、W.D’Andrea、H. Roldan◆NETHERLANDS＝H. Ende、D. Hendriksma、K. Krestev◆FRANCE＝L. Laforge、I. Previlh、S. Bianchi、E. Francois、R. Govasbault、L. Montesino、S. Briquet、J. Masson、I. Trabuc、K. Hadjsalah、B. Dallali◆SERBIA＝Z. Lukic◆INDONESIA＝Warsono◆BRAZIL＝F. Oliveira、W. Miranda、A. Falco、P. Nanni、R. Brasil、F. Neto、J. Dias、M. Martins◆LIECHTENSTEIN＝F. Shurdom◆NORWAY＝R. Madsen、T. Pedersen、J. Urbanski◆PANAMA＝M. Espinal◆RUSSIA＝V. Shevtsiv、A. Umanchikov、A. Lukin、K. Aleksandrov、V. Gordik、R. Vakhitov、A. Ivashkin、O. Timofeev、E. Trifanova◆AUSTRALIA＝M. Carter、R. Mcleod◆CANADA＝P. Saldat、J. Hayes、E. Lambertson、J. Lemire◆CZECH＝P. Rochla、J. Breburda、D. Kamaradova◆VENEZUELA＝S. Lacle◆U.S.A. ＝R. Palmer、A. Belyaev、P. Lasota◆U.K. ＝M. Wyld、C. Keating、B.O’Connell、D. Norton、A. Walsh◆BULGARIA＝S. Kakaliagkos、R. Todorov◆TURKEY＝T. Koken、U. Musa、F. Buzluca◆HUNGARY＝C. Stoia、Z. Toth、G. Kiss、B. Berces、N. Zoltan、M. Nagy◆SWITZERLAND＝P. Engel、C. Lang、M. Bruggmann、K. Kunzli、B. Dietschweiler、B. Kradolfer◆SLOVAKIA＝J. Micak

【貳段】

◆氣流会＝山下眞弘◆幸優氣会＝中川靖

仁◆合気道三浦＝太田耕一、前田将◆市原合気会＝末道子◆秋田合気道錬正館＝長谷部康寛◆小林道場＝大竹敦子、内山信隆、大内一大、川井孝寿、C. Webb、C. Lim◆合気道順天会＝栗原正吉、栗原千鶴◆祥平塾＝吉田圭助、濱崎将太郎、千葉憲次◆神武館＝畑中祥司◆千代田区合気会＝井藤秀夫、村瀬あゆみ、清水淳◆大阪合気会＝野村晃平◆大手前学院＝平林憲登◆天心道場＝J. Aasgaard◆奈良合気会＝西村英樹、今北伊公央、澤井千晶◆北総合気会＝R. Caceres◆用賀合気道クラブ＝朝戸英樹、M. Andrew◆鈴木道場＝田島裕一◆合気道翔道会＝角厚史◆駒場学園高等学校＝平野功司◆甲南大学＝谷拓樹、河野凜◆信州大学＝石井真範◆東京理科大学神楽坂＝浦内捷◆二松学舎大学＝齋藤美輝◆日本大学生産工学部＝小林将門、地引隆之◆法政大学＝石田竜稀、小林琢馬、三木愛美◆皇學館大學＝茂谷大暉、宮本かんな◆和歌山大学＝石田慎秀、伊藤尚人、國弘怜弥、鞍本陽平、酒井香奈、坂口周平、佐野貴章、柴原寿哉、橘千春、田仲詩歩、塚本杏奈、中山花子、奈手佑介、比良菜摘、村上はるか、森菜摘◆CANADA＝M. Pierre、M. Pierre、R. Pelletier、A. Faucher、A. Piche、A. Gagne、N. Seepaul、R. Cho、C. Blanc、S. Sookchohoff、C. Macdonald◆CZECH＝T. Brychcin、J. Jozif、M. Skala、J. Pavlicek◆PHILIPPINES＝N. Sanchez、K. Chan◆COLOMBIA＝W. Wilches◆GERMANY＝M. Franke、L. Geffel、U. Mingram、C. Maluche、J. Schau、S. Engert、V. Kan、J. Mager、M. Vogt◆PORTUGAL＝P. Marques、J. Sousa、J. Martins、C. Galbardi◆U.K. ＝M. Balaeva、C. Brunsdon、W. Price、V. Jansen、J. Kiely、K. Kulatunga◆NETHERLANDS＝高澤亜由子、W. Meijering、W. Huffelen、A. Jooren、Y. Schreurs、M. Lakhloufi、R. Vodegel、J. Gasselt、K. Geleijnse、Y. Hoekstra、E. Batenburg、R. Katen、R. Smit、F. Tran、M. Smith、A. Vark、R. Schwagermann◆MEXICO＝V. Trejo、R. Soto、D. Fernandez◆FRANCE＝A. Dixon、A. Juillard、L. Munier、R. Lepant、V. Lescroart、J. Boyer、B. Heloua、I. Yettefti、L. Lemaitre、T. Mathieu、E. Vandaele、Y. Stevant、M. Benabdelkader、G. Buttner、B. Berland、S. Picciotto、I. Pages◆SERBIA＝V. Jokic、T. Horvat、E. Korac◆HUNGARY＝B. Antal、Z. Szantai、G. Radics、I. Szemes、Z. Zilahy、J. Kalman、C. Murancsik、T. Lajcsak、R. Liptak、R. Sanchez、T. Gam、T. Botkos、G. Molnar、L. Borhy、E. Angi、C. Prigya、R. Stark◆INDONESIA＝B. Utomo、C. Daud、A. Feen、H. Oey、M. Putra、S. Yustitia、S. Ryan、S. Sikar、I. Agung◆BRAZIL＝O. Maniglia、A. Soares、F. Mendonca、R. Granada、F. Machado、C. Santa、F. Filho、M. Gurgel、N. Manzano、H. Alcantara、M. Almeida、J. Ferreira、P. Soares、L. Felice、F. Bacelar◆LIECHTENSTEIN＝M. Caratti、B. Wir◆MONACO＝C. Ferrari、A. Composti、A. Ballestra、Z. Stojanovic、D. Barral◆PANAMA＝E. Velarde、M. Bieske、O. Harris、R. Pedroza、L. Cid◆SPAIN＝E. Rivero、O. Benito、J. Rodrigo、A. Bernardos◆U.S.A. ＝F. Ibelnhaj、H. Hakeem、L. Pistone、J. Dehnert、M. Souza◆VENEZUELA＝E. Medina、K. Manzano、L. Conde、J. Quinones、R. Felicio◆JORDAN＝M. Elhout◆POLAND＝K. Kaliciak、J. Szymanski、K. Kosiarski◆RUSSIA＝V. Li、A. Efremov、V. Pantyukhin、A. Evstropiev、S. Kalinin、M. Zarubin、A. Karchava、A. Logunov、A. Barinova、A. Korotkov、A. Korotkova、V. Evstigneev、E. Ludenkov、L. Carol、V. Polyakov、A. Tsybulin、S. Filatov◆ARGENTINA＝F. Heit、D. Silva、G. Cambas、G. Perez、M. Vidal、A. Arriagada、W. Soto、M. Poisson、H. Sanchez、A. Cabrera、A. Arana、L. Garcia、M. Gonzalez、G. Villalba、D. Vespa、A. Massa、H. Salvo、S. Paglione、

G. Trerotola◆BULGARIA＝P. Petkov、A. Meeks◆TURKEY＝F. Arda、S. Kucuk◆SWITZERLAND＝M. Cattaneo、M. Mutti、A. Brunner、M. Humair、I. Cristani、R. Manazza、C. Ernst、J. Luder、M. Giger◆GREECE＝E. Manioudakis◆BELGIUM＝L. Taets◆SLOVAKIA＝M. Lestinsky◆韓国＝李明鍾、金施延、鄭多希

【初段】

◆本部道場＝腰塚正樹、阿部伸生、川原壯介、長田弘美、城所豊、F. Priadi◆道文研究会合気道上野芝道場＝前垣翠◆土浦つくば合気会＝杉本和久◆高伝館＝樋口敬哲◆三河合気道研究会＝鈴木仁司◆武修館道場＝岩城亜美◆鹿児島合気修練道場＝玉井誠、田原迫茉莉、中深迫美穂◆秋田能代合気会＝藤田祐也◆合気道小金井同好会＝谷山沙織◆小林道場＝山田隆久、小野梓、K. King◆合気道千葉千種道場＝A. Sharifi、H. Nouri、P. Arab◆祥平塾＝長谷文子、松尾明魅香、白石章二、志津里法子、江田蓉子、中村富美雄、リシャル・エリック◆神武館＝松永渉、都倉知宏、徳井孝文◆大阪合気会＝池田幸男、餅田進彦◆大阪武育会＝有塚満喜、木村真裕美、畑康雄、稲福智子、池淵隆雄、亀井里緒、中尾尚史、大倉真理慧、中川健、A. Libranti、K. Zuccarello、F. Bertuccio◆大手前学院＝早川舞◆和楽会龍昌寺道場＝齊藤みづき◆等々力道場＝加藤亮◆奈良合気会＝米野裕子、道下美佳、東本ゆい、新崎公太良◆柏合気会柏道場＝岸真規子◆豊田葵道場＝簗士雅、今井笙太◆北総合気会＝A. Tetelepta◆合気道光道場＝濱野和之◆あさひ会＝岡栞里◆我孫子合気会＝川端和美◆清心館道場＝大村和夫◆日本歯科大学O B職員合気道部＝深見日南子、沼部恵菜、谷本末青、田島唯佳、佐々木あみ◆合気道大都同友会＝中澤玲子◆啓翔会＝秋山春樹、松井仁美、佐野一憲、鈴木孝由、望月初巳◆土浦日本大学高等学校＝藤田悠乃、八巻瑛香、鈴木万純◆駒場学園高等学校＝雨森太一◆昭和第一学園高等学校＝細谷優介、菊地博貴、齋藤裕希子◆杉並学院＝松下晴香、松井美幸、植木千華子、丹羽みさと、大熊佐奈、小川空、小宅里佳、平井勝之、石谷有希、田崎真菜美、谷合直子、大澤寧々、菊地快成、千羽玲奈◆大阪府立日根野高等学校＝三宅琴美、下吹越しおり、岡中輝莉◆千葉県立流山高等学校＝大館叡人、◆東京都立農芸高等学校合気道部＝深谷零◆学習院大学＝小畑香織、堀雛乃、松村実花、吉原可南子、五味桃果、黒川大輔、上岡穂、田城勇◆群馬大学＝山下裕里絵、福田敦史、齋藤洋介◆慶應義塾大学湘南藤沢合気会＝藤井優人里◆香川大学＝田中将人、池内悠耶、國友海音、田中里佳、大野真子、松田明子◆高崎経済大学＝大久保泰希、佐藤太一、西脇一輝、関俊憲、荒井俊平、林美沙、松井優美、鈴木穰一郎◆新潟大学＝西平美里、伊佐朋子、沼沢実◆相山女学園大学＝飯島由梨、二村祐衣◆早稲田大学＝鈴木皓、水谷佑輔、清水卓哉、脇谷優一、下田ゆかり◆中央学院大学＝堀越和也◆東京女子体育大学＝小松実加、金井彩乃、入倉美波◆東北大学＝鈴木松海◆奈良教育大学体育会合気道部＝只信敦弘、村田史恵、西村早苗◆奈良女子大学＝浅井沙良、山崎美波、森木乃美、山崎有花、米倉日奈子、寺畑利美◆日本歯科大学＝飯塚智輝、高橋逸◆日本女子大学＝石田洗菜、篠崎万友子、高田尋那、田中美也子、畑中優里、藤田すみれ、塩野楓夏、木原梢◆日本大学芸術学部＝苑田華之介◆日本大学工学部体育会合気道部＝田村拓哉◆法政大学＝中嶋崇善◆富山大学＝鵜飼皓平、服部幹太、松下誠、早川史華◆PHILIPPINES＝D. Jesus、A. Hije、J. Quindoy、D. Hodrial、J. Hije、Z. Zaharani◆GUATEMALA＝S. Batres◆CHILE＝G. Leiva、C. Saavedra、M. Velasquez、M. Ramirez◆COLOMBIA＝J. Dominquez、J. Nieto、M. Polo◆GERMANY＝片山曉子、G. Kronenwerth、M. Ludwig、D. Dehne、J. Findik、J. Jacobsen、D. Nebotov、H. Rath、C. Seeberger、M. Uebrick、F. Czarnetzki、H. Hengesbach、S. Blumann、U. Hoppel、S. Kablitz、M. Keppe、T. Scharff、I. Schilk、

M. Haag、H. Dietz、K. Merkel、M. Quaas◆LEBANON＝T. Daou、S. Khayrallah◆PORTUGAL＝E. Nsouari、C. Coelho、B. Ravon、R. Mendes、M. Peyrou、F. Beauron、A. Daham◆DENMARK＝M. Byo、K. Kaas◆U.K. ＝J. Fitzpatrick、S. Roe、M. Filip、C. Gamble、S. Carver、U. Saleem、H. Harris、C. Coates、L. Constantini、G. Sheppard、I. Boyadzhiev、P. Adkins、P. Kitson◆NETHERLANDS＝小野繁、N. Ham、B. Vermaat、G. Rijn、J. Groot、R. Werf、W. Bondarev、R. Bruin、H. Egten、M. Pluis、L. Scaccabarozzi、H. Bos、P. Vollenberg、E. Rijdsdijk、J. Velde、N. Wangjit、W. Berg◆MEXICO＝G. Pina、A. Carbajal、R. Hernandez、R. Contreras、P. Garcia、J. Espinosa、A. Sierra、S. Lopez、G. Capistran、I. Jimenez◆FRANCE＝L. Picoche、B. Haredel、D. Degioanni、L. Modilot、O. Theron、N. Derouen、S. Hartard、T. Grenier、G. Coacolo、M. Grisard、F. Vendramin、N. Sanchez、C. Ravaud、P. Drogoul、M. Balanant、R. Benabdelkader、S. Bleriot、C. Brillie、S. Carollo、T. Chovet、L. Follet、L. Mahier、R. Marrone、C. Pioche、C. Rauber、T. Braun◆DOMINICA＝V. Galla、D. Ubinas、M. Perez◆SERBIA＝M. Micic、R. Molnar、I. Nikolic、B. Putnik、S. Zmic、K. Vasovic、S. Sinadinovic、L. Samu、D. Miloradovic、D. Zivanovic◆INDONESIA＝D. Gandakusuma、H. Alexander、M. Awaluddin、M. Bintoro、D. Yonathan、R. Zuanda、E. Sunanto、Handriyanto、D. Hermanto、E. Winpazqara、B. Intan、S. Hamidi、I. Gumelar、Y. Riry、P. Sianipar、A. Purnomo、Sunanto、V. Ryan、Sarito、W. Suba◆U.S.A. ＝江幡篤、D. Frick、K. Harvey、D. Tshibamba、K. Piper、W. Garrison、S. Crowell、A. Haythorn、M. Bonacci、M. Porter◆RUSSIA＝M. Protasova、S. Kazazaev、A. Petrov、E. Letovitez、J. Metelkina、V. Belkov、I. Voitiahova、A. Naimushin、H. Hetagurov、V. Tokbaev、A. Ivanov、A. Trenin、K. Kriuchkov、K. Tsuglevich、M. Syrovatko、S. Likhtin、S. Verzhikovskii、I. Tobolkin、A. Kormilov、I. Ovchinnikov、V. Pavlenko、V. Kiriliuk、G. Burmistrov、V. Grishin、S. Anoshkin、D. Sviatkin、E. Konko、I. Bedniakov、V. Bagaeva、E. Sablina◆BRAZIL＝J. Bachega、G. Okino、M. Medeiros、R. Silva、J. BalloaJr.、R. Chagas、N. Andreu、R. Jung、W. Filho、F. Garcia、D. Franc、P. Canola、B. Silva、L. Loder、F. Yonezawa、E. Ramos、R. Aparecido、A. Filho◆LIECHTENSTEIN＝M. Capeder、B. Brandt◆MONACO＝S. Garrec、J. Louvet、C. Lanteri、V. Launay◆NORWAY＝K. Rush、D. Jacobsen◆MONTENEGRO＝S. Stanic、Z. Veskovici◆SPAIN＝M. Tapia、D. Bueno、D. Santamaria、I. Moya、I. Gracia、A. Bahillo、R. Juan、R. Fernandez◆CANADA＝N. Halilen、L. Connuel、K. Belayat、W. Little、A. Taylor、A. Abbasi、A. Hsu、R. Husnudinov、R. Ammon◆CZECH＝P. Galatik、M. Liska◆VENEZUELA＝J. Garcia、E. Rico、M. Duran、V. Alvarez、E. Galue、A. Ospino、M. Aguilar、W. Camacaro、E. Garcia、E. Butto、G. Gutierrez◆SWITZERLAND＝W. Vahrson、J. Mironiuk、M. Schwab、E. Kohler、P. Waldmeier、P. Leuzinger◆POLAND＝K. Stefanczyk、P. Herczynski、J. Matusiak、S. Gucwa、W. Kordeczka、J. Mikolajczyk、P. Sikorska◆HUNGARY＝P. Szabo、B. Sandor、S. Soki、S. Danfi、T. Hegedus、G. Kovacs、Z. Pocs、Z. Robotos、A. Somogyi、L. Toth、I. Turai、T. Varga、S. Geczi、T. Gyovai、T. Tudlik、Z. Varga、J. Prigya、A. Feher、P. Hrabovsky、L. Gaal、P. Pospisil、I. Kund、Z. Adamy◆GREECE＝V. Papapanagiotou、E. Byroglou、I. Aikaterinidis◆ARGENTINA＝F. Fernandez、N. Limardo、D. Lynch、M. Otero、L. Otrera、J. Samma、E. Vennera、G. Troya、C. Azzimonti、A. Briglia、F. Briglia、A. Soto、S. Pinero、M. Abbiati、D. Barbera、P.D’Angelo、A. Gurri、M. Fernandez◆BULGARIA＝K. Seget、I. Madzharov、D. Radenkov、M. Reese◆TURKEY＝G. Pekayilan、C. Baykam◆LUXEMBOURG＝P. Mitsch◆CROATIA＝S. Orsulic、B. Segvic◆AUSTRIA＝A. Sieder◆SINGAPORE＝黎美玲◆U.A.E. ＝S. Sheheta◆韓国＝文星煥、T. Pinget